

埼玉地区災害対応「講演会」

日時 2012年9月15日(土) 午前10:30～12:30

会場 大宮教会 (さいたま市大宮区下町3-39 TEL:048-641-6148)

演題 「いつまでも変わらないもの」

— 原発に一番近い教会からの報告 —

講師 佐藤 彰牧師 (福島第一聖書バプテスト教会)



福島第一原子力発電所から5キロ圏内に一つの教会があった。東日本大震災による原発事故で、教会員は北海道から沖縄まで、全国各地に散らされ、避難生活を余儀なくされた。2008年に100年使える教会堂として建てた教会へは、もう戻れない。地震、津波、原発事故による幾多の困難に遭遇しながらも、信仰を守り続けた人々。その困難の中で神の恵みを知り、前進する人々。彼らは、何を感じ、何に励まされてきたのか。今、海外からも注目されている福島第一聖書バプテスト教会の佐藤彰牧師の証言を聞きましょう。

「明日を信じよう。」

希望がいつまでもないなんて、信じちゃいけない。一卷の終わりだなんて言わないようにしよう。

もう少し諦めないで、時を待って辛抱して、そして、時が来たら前進しよう。」

(「原発に一番近い教会」2月1、2日大分朝日放送特集で放送された佐藤彰牧師のインタビューより)

【講師プロフィール】

佐藤 彰(さとう・あきら)

1957年3月11日、山形市に生まれる。福島第一聖書バプテスト教会牧師。2011年3月11日、東日本大震災に遭い、教会は一時閉鎖。教会員や地域の人たちとともに流浪の旅に出る。教会のホームページには、海外からもアクセスがある。著書に、『流浪の教会』『続・流浪の教会』『苦しみから生まれるもの』『順風よし、逆境もまたよし』『あなたに祝福がありますように』などがある。特に、震災時にオンタイムで書かれた『流浪の教会』(いのちのことば社)は、多くの反響を呼んでいる。

ホームページアドレス<f1church.com>



◇入場無料 (福島第一聖書バプテスト教会への自由献金有)

主催 埼玉地区災害対応委員会